

〈令和5年度 総会〉

開催挨拶

環境システム計測制御学会 会長
京都大学大学院工学研究科 教授
都市環境工学専攻 高岡昌輝



皆様、こんにちは。

本日は環境システム計測制御学会の総会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。現在、会長を務めております京都大学の高岡昌輝でございます。本日の総会の冒頭、会長として、皆様にご挨拶を申し上げます。

まず、この総会が開催されるにあたり、多くの方々のご尽力とご支援があったことに深く感謝申し上げます。これまで3年間コロナ禍で対面の総会は実施できませんでした。この会場、きゅりあんも4年ぶりということになります。会場もきれいに改装され、まさにコロナ禍後の新しいスタートを切るにはふさわしい場となっております。皆様に対面でお会いできて本当にうれしく思っております。

現在、世間ではGX、DXが世間を賑やかしております。持続可能な社会を実現するためには、効果的な計測と制御が欠かせません。我々の環境システム計測制御の分野はこのような潮流の中、社会から大変期待されていると思います。

さて、昨年、当学会においては事務局の移転がございました。これまでは、京都大学大学院工学研究科附属流域圏総合環境質研究センターに専属の事務局員を置いて事務局運営をしておりましたが、事務局を大阪府枚方市にある(株)Atalaciaに委託して運営することにいたしました。事務局変更に関連して、様々なところでご迷惑をおかけしていると思いますが、ご協力よろしくお願いいたします。

本日の総会では、昨年度の事業報告及び決算、本年度の事業計画及び予算、役員案等をご審議いただきま

す。学会をより良くしていくためにも忌憚のないご意見を賜りたいと思います。よろしく願いいたします。

総会後は、3件の講演を予定しております。1つ目は当学会の名誉会員の古里明瑠氏に「EICAの温故知新—50年の歩みを振り返って—」と題してご講演をいただきます。EICA30周年の記念講演として令和2年度の総会にお願いしていたものをコロナ禍のため本日までお待ちいただいたものです。EICAが設立する前からの貴重なお話が拝聴できるものと思います。2つ目はEICAにおいて編集委員長等ご尽力いただいた名誉会員の井手慎司先生に「廃水処理プロセスのモデルシミュレーションとの出会い」と題して、ご講演いただきます。井手先生は本年3月に滋賀県立大学で定年を迎えられましたが、4月から同大学の学長・理事長を務めておられます。大変お忙しい中ありがとうございます。3つ目は、同じく当学会の名誉会員の清水芳久先生に「未来、現在、過去—未来は過去をつくる—」と題してご講演をいただきます。清水先生は、前会長で長らくEICAの運営にご尽力されてきました。振り返っての興味深い話を拝聴できるものと期待しております。

本日の総会及び講演会が、皆様にとって有益なものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。